

地域福祉活動計画中間報告 概要

計画の必要性

地域の福祉状況等の変化

ノーマライゼーションに基づく福祉の地域づくり
大幅に増加する高齢者に対するいきがい活動や介護予防の促進等
孤立した母親に対する子育て支援
住民関係の希薄化に対する住民相互ネットワーク形成

公・協・私の協働による推進

行政、社協、NPO等の非営利団体、住民、民間事業者等のネットワークによる推進
お互いの利点を生かした推進
より幅広い住民参加の促進

計画的な地域福祉活動の推進

計画的な複数年度わたる目標設定
社協の役割の明確化

4つの視点

高齢者・障害者のふれあいの場づくりや、新しく区民になった人たちが、関心を持つ取り組みを行う
次世代の担う「子どもたち」を巻き込んだ活動を行う
専門性を持つ社会福祉施設と連携を取り、より具体的で効果的な福祉活動への取り組みを行う
地域で活動している人たちの固定化による負担の増加や慢性的な担い手不足を解決する新たな担い手づくりを行う

計画の内容

4つの基本目標

地域住民の誰もがひとりの人間として自立して、地域社会で生活できるようにする。
人間関係を大切にしたふれあい・場づくりを進める。
専門機関と連携し協働して地域福祉を進める。
誰もが担い手となる新たな仕組みづくりを進める。

課題解決に向けての4つの基本計画

必要な福祉に関する情報を届けよう
気軽に集える場を地域につくろう
「ともに生きる」ことを大切にした啓発活動を行おう
皆で地域福祉活動に参加しよう



活動を支える2つの支援策

福祉のまちづくり推進会議（仮称）

人材に関わるネットワーク
情報に関わるネットワーク
拠点に関わるネットワーク
財源に関わるネットワーク

活動計画進捗状況管理と評価

課題

共生ひがし

ご近所コミュニケーションを大切にして、高齢者も障害者も誰でも気軽に集える場所や気軽に出来る仕組みをつくり、地域で支える仕組みをつくろう。
時代の変化に対応し、**シニアのニュースタイル**にあった利用者が主人公になって楽しめる企画をし、各種団体の連携や世代間を越えた交流により手をつなごう。
学びは大切であるので障害についての理解を深め交流し、啓発活動を進めよう。
地域は人材の宝庫であるので、自分たちのまちの協力者を探し、福祉の担い手を育てるシステムをつくろう。
もっと知りたい。伝えたい人に伝えたい情報を確実に伝え、関心を持ってもらえる広報を考えよう。

すくすく

母親達が**必要としている子育て情報**を、本当に必要としている人たちや届けたい人へ伝えよう。
子育てについての**悩みなどを気軽に話せる場**が必要であるし、それと同時に人が集まりやすいような工夫をしよう。
親の子育ての意識を変えていくとともに、地域の**子育てについての意識**も変えていこう。
地域での子育て支援を実現していくためには、**ボランティアの育成**や世代を超えた**リーダー・コーディネーター**を育成しよう。

ひと♡まちづくり

歩道の障害物やゴミのポイ捨てなどによって困る人たちのことを子どもたちと一緒に考え、**大人も子どももマナー・モラルを大切にする**誰にでもやさしいまちにしよう。
ふれあいを求めてもっとお互いを知り合う機会をつくり、障害者や高齢者に対する理解を深め、偏見をなくそう。
みんなが使う施設をバリアフリーにし、使う人の立場に立った施設づくりをして、誰もが**安心してまちに出られるように**しよう。
生活に必要な情報や制度をもっと**知りたいわかんない**。誰にでも必要な情報が届くしくみをつくり、安心して暮らすための条件を整えよう。